第41号
2007/11/1

フクタニュース

発行
(株) コクタ
砕石部

狭き門

採石業務管理者試験が実施され、２６日合格発表があった。岩手県内での合格者は１１名、合格率１５％という狭き門を突破して、当社の高橋君が合格した。

この試験は、法律、技術の広範な分野から出題されここ数年は合格率が２０％程度である。１級土木施工管理技士が３０％、コンクリート技士が２５～３０％の合格率であることを考えると難関である。おみごと！これからも精進を期待したい。

晴舞台

十月三日に仙台市で開催された『全国砕石技術大会』において、当社の遠藤工場長が『日本砕石協会安全優良者』として表彰されました。

永年誠実に業務に精励したことが認められたものです。

個人への表彰ではありますが、当社社員全員の賜ととらえ、これからも安全な職場づくりに努めてまいりたいと思います。

下町と高層ビル

先日、日本を代表する商事会社のビル最上階ゲストルームで食事をする機会があった。場所は東京月島。ウォーターフロントや東京タワーの夜景を眺めながら、和食料理のコースを厳かに食させていただいた。地下鉄月島駅に向かう帰路、「月島もんじゃ通り」を通りがかり、満腹にもかかわらず、ある一軒に入り、めんたいこもんじゃをいただいた。もんじゃ通りだけで８０軒ももんじゃ焼屋があるそうだ。

つい２０分前、ビルの最上階の景色と目の前のもんじゃ焼がどうしても結びつかなかった。

創造と行動

福島県双葉町の「乾式砕砂プラント」の見学をさせていただきました。

乾式工程で余剰品として発生する「石粉」をセメント安定処理することで『エコサンド』というおいしそうな名前の商品として管工事の埋め戻し材として実用化している工場です。この工場の凄い所は、古いコンベア等を再利用し自分達の手で作ってしまった所です。じっくり考え素早く行動が大事だと考えさせられた一日でした。

日本のエネルギー

去る10月18日、能代火力発電所と能代風力発電所を視察した。

能代火力発電所の話しによると、日本の国産のエネルギーは４％だけであり残りの96％は外国からの輸入だそうである。

そのエネルギーの資源にも限界があり、今の調子では、石油が41年、天然ガスが62年、ウランが64年、石炭が230年で無くなってしまう見通しだそうである。限りある資源、皆さん大切に使いしましょう。

また、それに変る資源として開拓されているのが風力発電と太陽電池である。

しかし、風力発電は投資額が高いことと（一機当たり一億円）採算性の悪さ（能代風力発電所の場合、昨年40万円の赤字）から日本の電気生産量の10%に過ぎないとのことである。太陽電池は価格が高騰なので付けたくても付けれないのが現状である。

早急に低価格化を推進し、普及率を上げたいものである。

勝てば官軍　～安けりゃいいの？～

ミートホープ、白い恋人、赤福、比内地鶏‥

次から次へと「ごまかし」の発覚。利益を残した結果に正義が後からついてくるような風潮が多数派となり、日本人全体が多数へ向かってなだれてしまっているようだ。安くする為、利益を上げる為に犠牲にされているもの。安全、品質、環境への配慮、誠意、ゆとり、まごころ等々。時々、立ち止まって確認する余裕を持たなくては、と思う。

編集後記

あれ？なぜこんな時期にヒマワリの写真…？と、思われたことと思います。今年の春先に植えたヒマワリの種が暖かかったせいか二回りくらい小さいのですが花を咲かせました。来年の夏まで見ることが出来ないと思っていたヒマワリを見ることが出来たのでとてもラッキー！

先日、K組さんにご集金に伺ったところ、事務所の裏側に社長さんの趣味であるという素敵な庭園をみてドッキリしました。すっかり紅葉をして黄色、赤、焦げ茶色の何とも言えない光景に思わず「うわ～」と、声を上げてしまいました。仕事しながら季節を感じることの出来る事務所でとてもうらやましく思いました。また、来年はカメラを持っておじゃまさせて頂きたいな…(^.^)